

令和 4年 3月 7日

江差町議会議長 打越 東亜夫 様

社会文教常任委員会

委員長 小野寺 真



委員会調査報告について

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第78条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 1 調査事件 令和3年第3回定例会  
発議第11号 学校施設整備に関する事務調査
- 2 調査期日  
令和3年 11月 9日 事務調査の進め方について  
15日 担当課聞き取り調査（学校教育課）  
令和4年 1月25日 今後の取り進めについて  
3月 1日 担当課聞き取り調査（学校教育課）  
7日 事務調査のまとめ

3 調査の結果

(1) 建て替えの江差中学校を除く各小中学校については、老朽化等による課題について、社会文教常任委員会でも、過去数次の事務調査が行われた。

直近では、平成30年12月3日に学校施設に関する事務調査の委員会報告で、雨漏り対策やトイレの洋式化、網戸の整備等の意見が出されている。

本委員会では、上記の意見で指摘していた事項について、教育委員会としてどのように対策が取られてきたのかを中心に、各学校の施設整備状況を担当課から聞き取りをした。

(2) 文科省が前倒しで進めてきたGIGAスクール構想による、児童生徒一人1台端末の整備状況についても、担当課から聞き取りをした。

なお、現地調査も検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から取り止めとしている。

これらの調査検討を踏まえ、次のとおり意見を付して報告する。

## <意見>

1. 指摘事項の雨漏り対策について、江差小学校は令和2年度で正面普通教室棟の屋上防水改修工事、3年度に特別教室棟と旧幼稚園棟の屋上防水改修工事が終了している。

江差北小学校の雨漏りは、図書室での雨漏り対策が残ったままである。

については、児童の図書活動等に影響を与えることのないよう、また対策が遅れるほど雨漏りの状況が拡大することも考えられるため、早急な屋上防水改修工事を実施すること。

2. 指摘事項の網戸の未設置は、学校から要望のあった242箇所を令和2年度に設置。また、トイレの約半分が和式だったが、令和2年度に小中学校で計39か所の改修工事をし、100%洋式となった。

今後とも、児童生徒が安心して学業に専念できるよう、老朽化からくる施設の損傷等の状況を的確に把握し、改修等の対策を進めること。

3. 児童生徒一人1台のタブレット整備は、今年1月の新型コロナウイルス感染で学級閉鎖があり、小中学校でタブレットを持ち帰り、自宅からオンラインで繋げる実験を実施。また、各家庭・担任自宅・学校を結んだ双方向オンライン学習を実施した。

オンライン学習は、中学校では十分可能であるが、小学校低学年では操作方法等に課題が見受けられるとのことで、今後も教育委員会としての学校への支援が必要と考える。

4. 各学校にネットワークの大容量高速化の整備がなされ、ICT機器の活用が進んできているが、教員の働き方改革を進めるうえで、国が財政措置しているICT支援員の活用なども検討すること。

以上